

# 地域力を活用した通学路の安全を確保する取組 (周防大島町立久賀小学校・久賀中学校)

## 〈ねらい〉

学校・家庭・地域が連携して、学校安全3領域の観点から総合的に通学路の安全点検や安全マップづくり等を行う活動を行うことにより、地域ぐるみでの学校安全活動の充実を図るとともに、子どもたちが「自他の命を守る」という高い安全意識を育むことを目的として実施する。



## 取 組 内 容

- 1 実施期間：令和元年8月～令和2年1月
- 2 実施校：周防大島町立久賀小学校（校長：中山 一弘）  
周防大島町立久賀中学校（校長：豊島 正行）
- 3 推進組織：教職員、保護者、学校運営協議会、久賀総合支所、行政相談員、県学校安全体育課、学校安全アドバイザー、柳井警察署、周防大島幹部交番、見守り隊

### 4 取組内容

#### (1) 見守り隊「お願いします」の会

登下校の見守りをしてくださる方々を紹介し、全児童で1年間のお願いのあいさつをしました。



#### (2) 柳井警察署による通学路点検

小学校5年生・6年生が柳井警察署、生活安全サポーター、生活相談員の方々と一緒に下校しながら通学路の安全確認をしました。



#### (3) 行政相談出前授業

小学校6年生が普段通学路を歩いていて、安全面で気になっていたことを行政に相談し、改善を要望しました。



#### (4) 小中連携協議会での通学路点検

小中学校教職員、保護者、地域学校安全アドバイザーを招き、職員、保護者、地域の方々に分担して通学路の点検を行いました。



#### (5) 小中合同通学路安全点検ウォーク

小中学校の全校児童生徒が縦割り班で通学路の安全点検を行い、どこにどのような危険があるのか、どのような事に気を付けなければならないのかを確認しました。



#### (6) 通学路安全マップ作成

小学校6年生と中学校1年生が小中合同通学路安全点検ウォークの点検結果を基に、危険箇所と気をつけることを地図上に記した通学路安全マップを作成しました。



#### (7) 危険予測学習 (KYT)

小学校4年生と中学校2年生が、教材のイラストや写真を見て、そこに潜む危険を予測し指摘し合い、事故に遭わないためにはどのように行動するのかを考える学習を実施しました。



#### (8) 小中合同集団登校

同じ通学路を通る小・中学生が危険箇所とそこでの注意事項を確認しながら一緒に登校しました。



### 5 成果

関係機関や地域とのつながりを深め、通学路や集団登校の集合場所を見直すことができた。また、児童生徒が危険箇所を教え合うなど、自他の命を守ろうとする主体的な態度が身に付き、安全についての理解を深めることができた。

### 6 課題

今年度だけの取組にならないよう、長期的な計画を立て、継続的に実践し、児童生徒の安全意識と実践的態度を更に向上させていきたい。